

# 闘虎

## No. 19 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙  
平成21年 夏季号



写真提供：日本レスリング協会

### 松本隆太郎悲願の日本一！

#### 全日本選抜レスリング選手権大会

6月20～21日、東京・代々木第2体育館において「全日本選抜レスリング選手権大会」が行われた。今年の全日本選抜で注目を集めたのが、グレコローマン60kg級に出場した松本隆太郎（千代田jr一館高一日体大一(株)群馬ヤクルト）。同級には、シドニー、アテネ、北京と3度のオリンピックに出場した笹本睦選手が出場することから、「隆太郎の笹本超えなるか」がテーマとなった。決勝で笹本と対峙した松本は、もはや位負けすることのない互角以上の試合を展開。笹本が足を使った反則による失点をするなど非常にスリリングな展開の中、松本は遂に笹本を破り、プレーオフでも天皇杯の覇者から勝利を収め、悲願の日本一に輝き、世界選手権の切符を手にした。

隆太郎の弟・篤史（千代田jr一館高一日体大4年）も決勝まで駒を進めるが惜敗。兄弟日本一は持ち越しとなった。また、長島和幸（太田倶楽部一館高一早大(株)クリナップ）が初優勝を飾り、本県から2人の日本代表が誕生した。

◆発行／群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会

# クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

## 第19回 群馬大学



始まりは7人のサムライ  
文武両道の紳士を目指す

群馬大学レスリング部が誕生したのは今から32年前。昭和52年、当時教育学部1年生の渋谷和朗さんが6人の同級生を集めて発足させました。その渋谷さんは現在、イギリス・ケンブリッジ大学博士課程に在籍し、英語教育に関する博士号取得に研究活動を進めているそうです。

そんな先人たちの汗が強力な漆喰となつて、現在の礎となつています。部長は長らく同部を育ててきた柳川益美さん（現県協会会長）、監督は柳川美磨さん、そして数中さんと山下誠司さんがコーチとしてその脇を固めます。部員は現在5名。取材した日も少人数での練習でしたが、美磨監督の工夫を凝らした中身の濃いメニューで群大生たちは汗だくになっていました。少数精鋭は今も昔も変わりませんが、東日本学生リーグの中で12年間、「一部」を維持しています。個人戦でも、上位に食い込むことは珍しくありません。

「将来の職業意識をしっかり持ち、学業にレスリングに励むこと」という教育理念をもつ柳川益美部長。同部のパイオニア・渋谷さんが学んでいる国は「紳士の国」といわれるイギリスですが、これからも群大からは文武両道の「紳士」が育っていくことでしょう。

### SCHEDULE

- 国民体育大会  
9月27日(日)～30日(水)  
新潟市白根カルチャーセンター
- 県民総体・県高校新人戦  
県小学生総体会  
11月1日(日)  
館林市城沼総合体育館
- 上武洋次郎杯邑楽町  
少年レスリング大会  
11月15日(日)  
邑楽町体育館
- 千代田町近接少年  
レスリング大会  
12月5日(土)  
千代田町総合体育館
- 都市交流親善大会  
12月20日(日)  
館林市城沼総合体育館



小松崎智久さん(館林市・41歳)

### レスラーの心

□この写真は、私(左から二番目)が館林高校3年のとき、岡山インターハイの帰りのフェリーでの一枚です。私は試合には出場せず、団体戦でも全国選抜王者の関昌弘を休ませるとき、私ではなく1学年下の山口英雄が使われました。高校3年間は楽しい思い出ですが、選手としてはいい思い出はありません。私の48キロという階級は同門の関、山口のほか、関学の渡部、小芦、坂村や西邑楽の石倉など県内でも頭角を現すのは至難の業でした。高校での悔しさを東京農大に行つて晴らそうと思ひ、頑張つてみました。その結果、インターハイ、国体に出ていないでインターハイ、国体に出たのは、前述のメンバーで私だけです。私の結婚式のとき、高田裕司先生はこのことをスピーチで話してくれました。ちゃんと見てくれてたんですね。

# HERO'S IN GUNMA



## 松本 隆太郎 選手 (群馬ヤクルト)

昨年12月の天皇杯全日本で、自分は2回戦敗退でしたが、それがいい薬となりました。このときは自分自身に「何やってんだよ!」と言いたい気持ちでした。だから、全日本選抜はとにかく勝つことしか考えなかったですね。相手が笹本さんだろうが誰だろうが、とにかく勝つ。それが現実のものとなってホッとしました。世界選手権では表彰台に乗ることが目標です。

- 衣(太田) ◆45kg級 ③大出若奈(千代田)
- ◆36kg級 ③早瀬蒼(明和)
- ◆28kg級 ③宮原初花(女子4年)



金メダルと喜びをかみ締める鈴木芽衣!

## 木村政貴(館高)準V! 来年の手ごたえ掴む! 全国高校総体レスリング競技

8月3〜6日、奈良市中央体育館において「三笠宮杯第56回全国高校レスリング選手権大会(インターハイ)」が行われた。高校の集大成であるインターハイにおいて、2年生ながら最有力候補だった木村政貴が期待通り決勝まで進出。僅差で優勝は来年に持ち越しとなったが、木村にとって決勝戦を一度経験したことを活かし、頂点を目指してほしい。

- (大間々) ◆13kg級 ②小林奏音(邑楽)
- ◆74kg級 ②木村政貴(館高)

# 鈴木紅夏(太田俱樂部) 全中初優勝!

## 全国中学生レスリング選手権大会

6月13〜14日、水戸市スポーツセンターにおいて「全国中学生レスリング選手権大会」が行われた。今年の中中で優勝候補に挙げられていた女子58kg級・鈴木紅夏(太田)は全日本女子から1階級下げての勝負に挑んだ。昨年の全中から1年間、休日という休日を練習に充て備えてきた鈴木は、決勝まですべてフォール勝ち。決勝でもJWAの選手にフォール勝ちを収め、完全優勝を果たし、優秀選手賞に該当する「水戸市長賞」も獲得した。



全中優勝を目標に努力してきた鈴木紅夏! 感無量!

- 県内選手入賞者は次のとおり。  
【女子の部】◆46kg級 ②木村安里(千代田) ◆58kg級 ①鈴木紅夏(太田) ③柴崎仁沙(館林)

## 池田圭介(館高)優勝! 全国初タイトル獲得! 全国高校グレコ選手権大会



写真提供:日本レスリング協会

優勝が決定した瞬間の池田!

8月18〜19日、千葉県佐倉市民体育館において「第25回全国高校グレコローマン選手権大会」が開かれた。55kg級に出場した池田圭介(館林jr1館高3年)が優勝を飾り、念願の全国タイトルを獲得した。池田は、

館林Jrで基礎作りをして館高に進学。学力でもトップクラスを維持しながらの練習で、減量苦や肩の負傷などに見舞われ、タイトルにはなかなか手が届かなかったが、得意のグレコでようやく才能開花。国体での活躍に期待がかかる。

- ◆55kg級 ①池田圭介(館高) ③金沢翔太(前西高)

## 姉に続いた全国優勝! 鈴木芽衣(太田)V! 全国少年少女レスリング選手権

7月24〜25日、東京・代々木第1体育館において「第26回全国少年少女レスリング選手権大会」が行われた。県内クラブからも多数の選手が参加、広いアリーナに敷かれた8面マットで文字どおり「八面六臂」の活躍をした。中でも最後の全少となった鈴木芽衣(太田)の優勝にかけた執念が、5連覇のかかった強豪選手に勝り、全中で優勝した姉・紅夏に続き歓喜の涙を見せた。

- 県内選手入賞者は次のとおり。  
【6年】◆30kg級 ③小島彩暉(大間々) ③小野海成(太田)
- 【5年】◆54kg級 ③柴塚兵吾(大間々)
- 【3年】◆33kg級 ③石川弘人(邑楽)
- 【女子6年】◆45kg級 ①鈴木芽衣

## 女子の「インターハイ」 新井明恵が第2位! 全国高校女子レスリング選手権

8月17日(月)、千葉県佐倉市民体育館において「第15回全国高校女子レスリング選手権大会」が行われた。インターハイ競技として存在しない女子レスリングにとって、同大会が事実上のインターハイ。その中で、安定した力を発揮している新井明恵(富実高)が第2位となり、頂点へ着実に近づいていることを示した。県内選手入賞者は次のとおり。

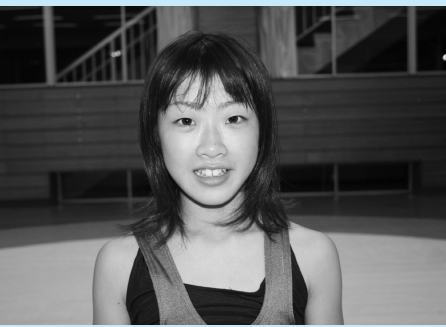
- ◆60kg級 ③石岩優菜(西邑楽)
- ◆65kg級 ③吉井瑞江(富実高)
- ◆70kg級 ②新井明恵(同)

## 戸ヶ崎海渡ら6人優勝! 館林市民秋季レスリング大会

9月5日(土)、城沼総合体育館において「館林市民秋季レスリング大会」が行われた。優勝者は次のとおり。

- 【中学生】◆42kg級 寺田光輝(太田) ◆47kg級 大関蘭(O.S.A)
- ◆53kg級 中村旭昇(太田) ◆59kg級 杉田強喜(同) ◆73kg級 中里貴大(館林) ◆73kg級 関谷雄太郎(邑楽) ◆73kg級

## なごJINGUNMAのレスクイーン



大間々レスリングクラブ 坂本 美奈実さん(1年)

4歳のとき兄がやっていたので、そのまま大間々クラブに入りました。私はレスリングはカッコいいというイメージがあったので、練習がきつーと思っても、やめたいと思っただけとありません。みんなと一緒に練習したり、大会でいろいろな所へ行ったりするのが楽しくて、友だちもたくさんできたことがよかったです。最近では、千代田の太田若奈さんと仲良くなりました。今度会ったら、メールアドレスを教えてください。これからは全国大会で勝てるようがんばります。高校でもレスリングを続けます。好きなレスラーは伊調姉妹です。



左から加藤・日下部・戸ヶ崎!

- 【小学5〜6年】◆30kg級 小島彩暉(大間々) ◆34kg級 戸ヶ崎海渡(館林) ◆39kg級 金子麗一(大間々) ◆45kg級 大出若奈(千代田) ◆51kg級 柴崎世真(館林)
- ◆51kg級 柴塚兵吾(大間々)
- 【小学3〜4年】◆24kg級 清野大輝(邑楽) ◆28kg級 高橋幸大(同)
- ◆33kg級 藤倉健吾(同) ◆39kg級 関谷佳那子(同) ◆42kg級 大川卓也(館林) ◆42kg級 西川真由(伊勢崎)
- 【小学1〜2年】◆20kg級 日下部倅慎(館林) ◆24kg級 田口凌(邑楽) ◆28kg級 秋田朝陽(明和)
- ◆28kg級 佐々木颯斗(太田)
- ◆17kg級 加藤敦史(館林)
- ◆21kg級 生形時人(大間々)
- ◆21kg級 藤倉優花(邑楽)